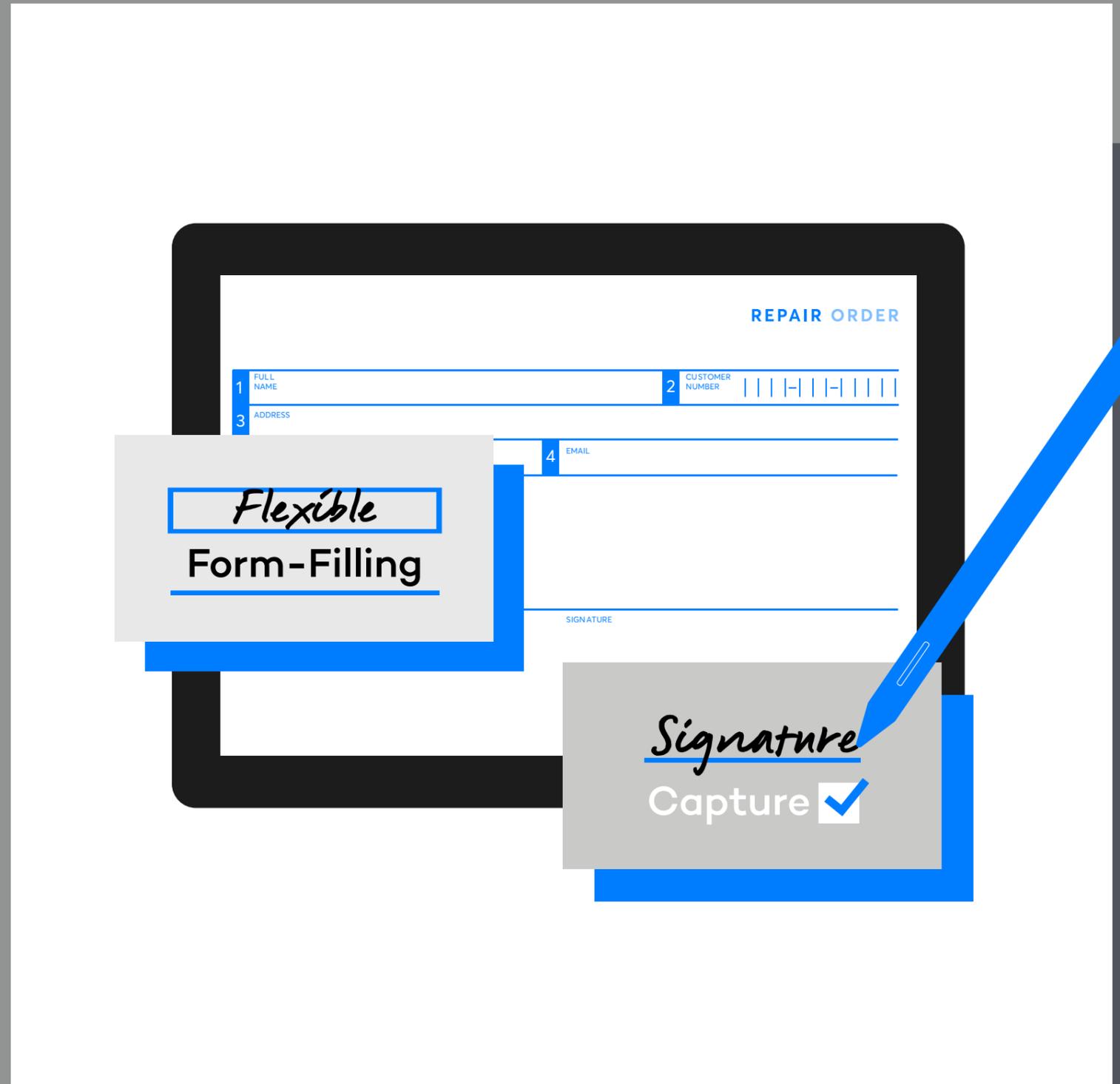


製品カタログ

sign pro PDF

100% digital
workflows



WACOM® for Business



sign pro PDFを選択する理由

Flexible e-signatures

サインは、同意の提示や重要な意思決定の際に意思を示す最も自然な方法です。しかし、デジタル化された現代社会において効率的なプロセスを維持するには、今こそ電子サインが必要となります。

手書きのサインをデジタル化

ビジネスでは、重要なワークフローを完了する際にペンと紙を使用した手書きのサインが求められますが、特にリモートワークの場合、これによりプロセスに遅れが生じます。しかし、sign pro PDFを使用すると、こうした手書きのサインを取得してデジタル化できるようになります。

sign pro PDFは、デジタル文書に手書きのサインやテキストを追加するためのソリューションです。つまり、誰でも電子ペンを用いて文書にサインしたりフォームに入力したりでき、紙の書類を印刷、スキャンして送信する手間も不要になります。さらに、sign pro PDFを使用して取り込んだサインの安全性は確保されています。



sign pro PDF API

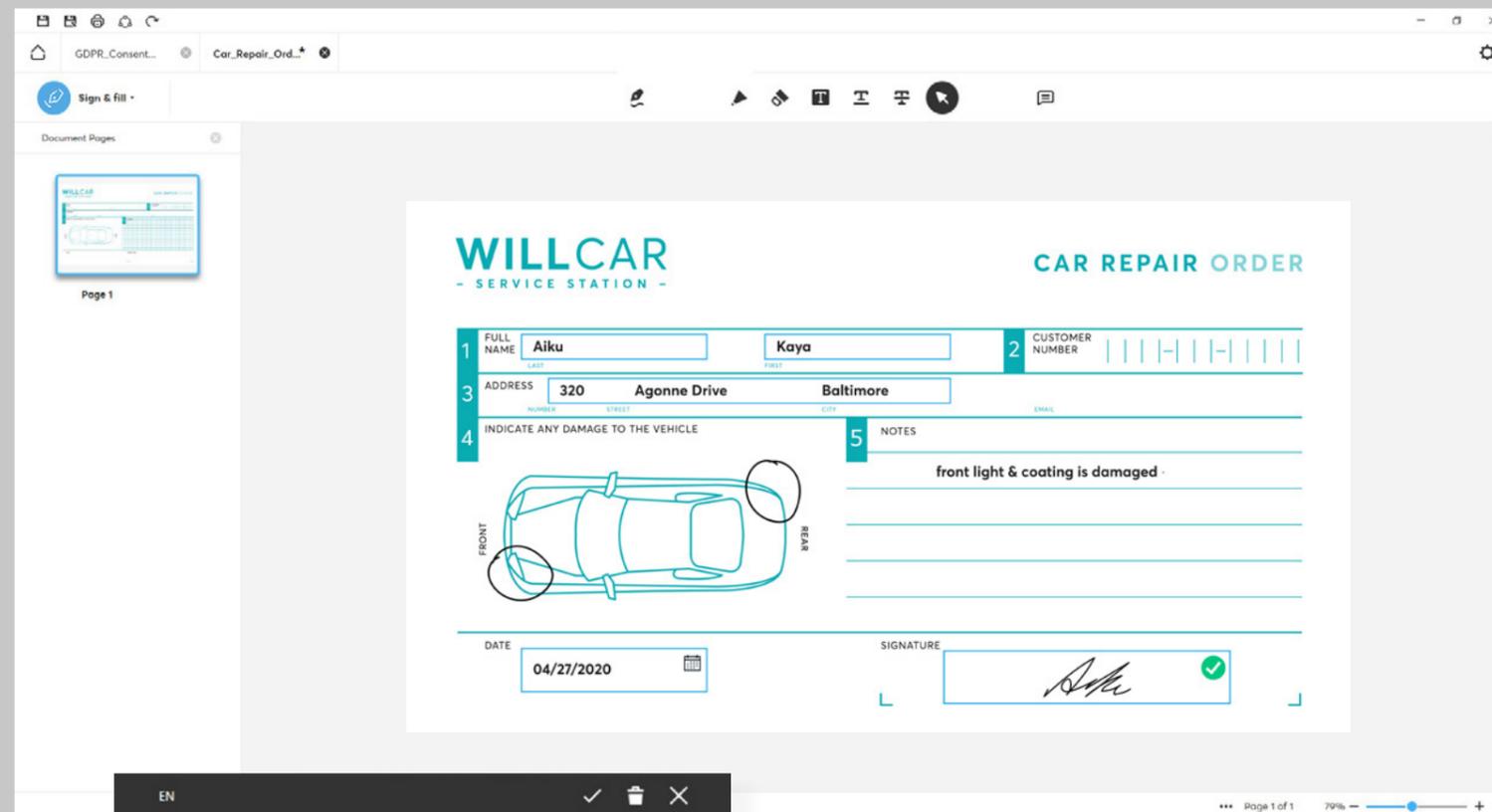
お使いのシステムに手書きの電子サインを容易に組み込めるソリューション



sign pro PDF App

デジタル文書に手書きの電子サインを追加できるパッケージアプリ。StandardモードまたはPremiumモードで利用可能

sign pro PDF Key functionality



- 1** フォーム入力を柔軟に実行

紙の帳票は、印刷、スキャン、郵送、保管といった作業が必要となり、多くのワークフローで時間とコストの無駄が生じます。一方、sign pro PDFでは、あらゆる場面においてペン対応デバイスでフォーム入力や注釈入れをすばやく容易に行うことができます。
- 2** 手書き文字認識 (Premiumの機能)

sign pro PDFには最先端の手書き文字認識機能が内蔵されており、最大限の柔軟性が確保されているため、ユーザーがキーボードを使用できない場合など、どのような状況でもフォーム入力が可能です。
- 3** フリーハンドのアノテーション

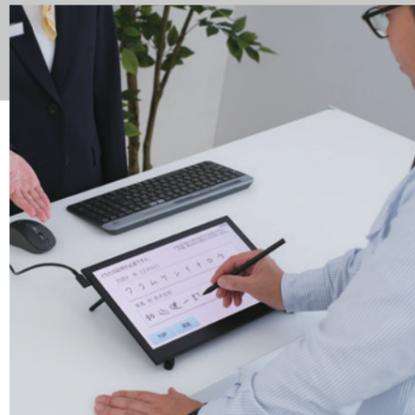
sign pro PDFでは、文書に手書きのメモを追加することもできます。メモは、指示を明確化したい場合、変更が必要な場合、要点を強調する必要がある場合など、さまざまな状況で使用できます。
- 4** 電子サインのキャプチャと暗号化

sign pro PDFでは、ペン対応デバイスを使用して手書きの電子サインをキャプチャすることができます。ユーザーにとって、ペンと紙を使用した場合と同じように快適で自然にサインできます。ワークフローの担当者にとっても、このプロセスはすばやく簡単なソリューションとなります。さらに、サインは筆跡情報を含むため正確であり、サインの作成時には内蔵された暗号化機能によって保護されるため、安全性にも優れています。また、このようなフローの採用により、サインそれぞれの法的有効性も高まります。

sign pro PDF

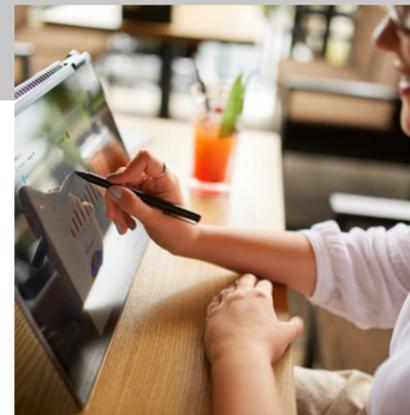
Use cases

- 同意の取得（医師、歯科医師、小売業者など）
- 契約書へのサイン（銀行、保険など）
- 書類業務（保守／修理への同意、物流）
- 患者の治療に対する同意の記録（病院、診療所など）
- 法的同意の確保（委任状、納税申告書の提出など）



対面業務

sign pro PDFでは、組織が最小限の組み込み作業を行うだけで既存のワークフローに手書きの電子サインを追加できるようにするためのソリューションを提供しています。これは、顧客との対面業務を行う金融サービス、医療、観光産業、ホテル、および行政機関のお客様に最適です。



リモートサインワークフロー

sign pro PDFでは、リモートワーカーがペン対応デバイスとsign pro PDFを使用したり、sign pro PDF APIを組み込んだ既存のアプリケーションを使用したりして、デジタル文書に簡単に手書きの電子サインを追加できる手法を提供しています。これにより、従業員は決定事項の承認や契約締結の際に自宅からでもサインできるようになります。そのため、用紙を管理する手間やコストが不要になり、これまで社員が習熟していた既存のワークフローを変更する必要も生じません。



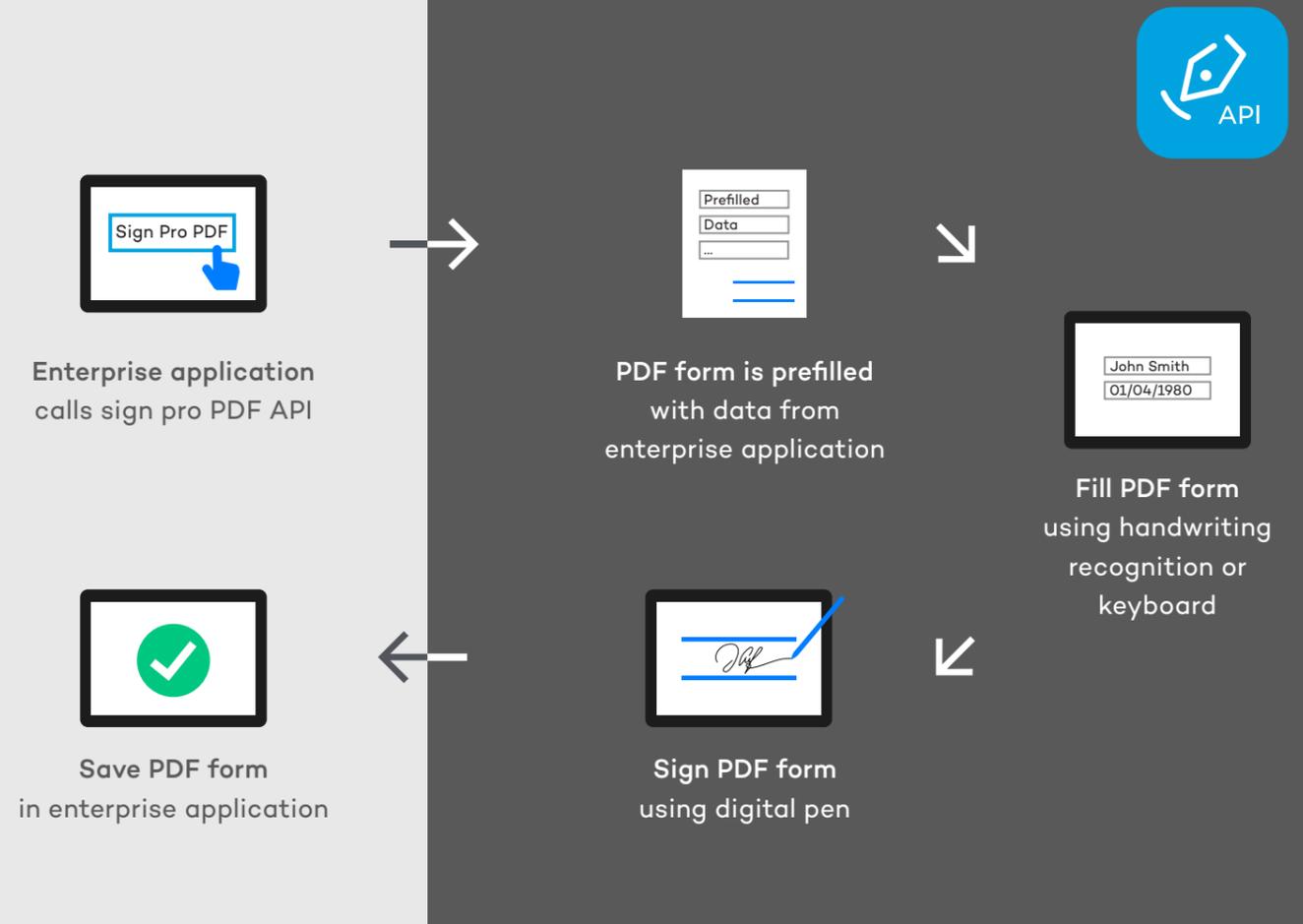
クラウドベースのサインに代わる選択肢

クラウドベースのデジタルサインを利用する場合、プロセスがかなり複雑化します。また、多くの組み込み作業が必要となり、運用は外部ベンダーが行うため、ユーザーの利便性はそれに左右されます。つまり、ベンダー側の管理作業は増大し、ほとんどの場合で高コストになります。一方、sign pro PDF APIを使用すると、既存のワークフロー内の最小限の組み込み作業だけで手書きの電子サインを実現できます。組織はユーザー側の利便性を引き続き管理することができるため、複雑で高コストなクラウドベースのデジタルサインソリューションは不要になります。

ワークフロー内でのサイン *sign pro PDF API*

メリット

1. 既存のアプリケーションやワークフローに手書きのセキュアな電子サインを追加可能。
2. 必要な統合作業はわずかです。カスタマイズも可能。
3. 紙の書類を作成、管理、保管する手間を省き、プロセスの削減が可能。
4. Json やテキストタグによるフォーム構築が可能なオーサリングモードを使用して、容易に文書をカスタマイズ可能。
5. 高コストかつ複雑なクラウドベースのデジタルサインプラットフォームが不要。
6. 従来と同じ自然で確実な手書きサインの使い心地を維持。



sign pro PDF APIを使用することにより、データのコンプライアンスに関する問題を生じさせることなく、CRM、ERP、契約管理などの既存のアプリケーションを用いて容易かつコスト効率よく手書き入力を導入することができます。

これにより、紙の書類を印刷し、サインや処理を行って保管する必要がなくなるだけでなく、これらの作業を電子的に完了することでより効率的なプロセスを実現することが可能になります。また、このような手書きの電子サインを活用すれば、複雑かつ高コストなクラウド型電子署名システムも不要になります。

sign pro PDF

Version - overview

sign pro PDF App:

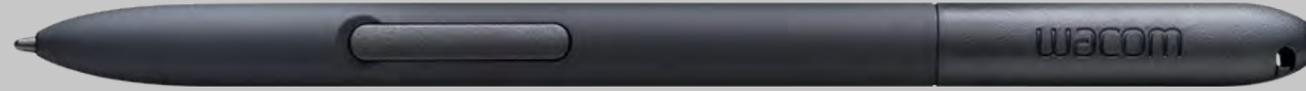
組み込みなしで手書きの電子サインを文書に追加したいユーザー向けです。StandardモードおよびPremiumモードの2つのバージョンがあります。

sign pro PDF API:

手書きの電子サイン、注釈、およびフォーム入力を既存のシステムに組み込みたいユーザー向けです。

	API	App		
				
バージョン	4	4 Premium	4 Standard	3.6
OSの要件	Windows 10以降	Windows 10以降	Windows 10以降	Android OS 10以降
機能				
ワークフローへの統合	✓	—	—	—
電子サインのキャプチャ	✓	✓	✓	✓
フリーハンドのアノテーション	✓	✓	✓	✓
キーボードによるフォーム入力	✓	✓	✓	✓
手書き文字認識のフォーム入力	✓	✓	—	—
PDFフォームのオーサリング	✓	✓	—	—
ドキュメントライブラリ	—	✓	—	—
ISOサインのサポート	✓	✓	—	—
電子サインの暗号化	✓	✓	FSS	—
ペンの互換性				
ワコムデバイス	ワコムの液晶サインタブレット (STU)、 液晶ペンタブレット (DTx)、 ペンタブレット (CTH/CTL)	ワコムの液晶サインタブレット (STU)、 液晶ペンタブレット (DTx)、 ペンタブレット (CTH/CTL)	ワコムの液晶サインタブレット (STU)、 液晶ペンタブレット (DTx)、 ペンタブレット (CTH/CTL)	—
サードパーティ製デバイス	Asus、Dell、HP、Lenovo、 東芝製などの ペン対応 Windows デバイス	Asus、Dell、HP、Lenovo、 東芝製などの ペン対応 Windows デバイス	—	スタイラス付属の あらゆる Android デバイス
対応言語	英語、ドイツ語、スペイン語、フランス語、イタリア語、日本語、韓国語、オランダ語、ポーランド語、ブラジルポルトガル語、ロシア語、中国語 (繁体)、中国語 (簡体)			

More human



More digital

詳しくは、ワコムビジネスソリューション営業担当者にお問い合わせください。

forbusiness@wacom.co.jp

ワコムビジネスソリューションチームは、数十年にわたって業界をリードしてきたデジタルペンテクノロジーに基づき、対面でのやり取りが必要なワークフローのデジタル化をサポートいたします。正確なデジタルインクを保存および表示する当社のソフトウェアを使用すると、ワコムのハードウェアの機能を最大限に利用することができます。当社のパートナーネットワークを活用すれば、ワークフローに手書きの電子サインや注釈をシームレスに統合することが可能です。これにより、使い慣れたペンと紙の感覚を残したままで業務のデジタル化とペーパーレス化を実現することができます。さらに、WILL™ 3.0 (Wacom Ink Layer Language) 規格を使用すると、あらゆる用途にデジタルインクで対応するための新しいアプリケーションを強力にサポートすることができます。これにより、よりデジタルかつ人間に寄り添った体験を次世代のお客様に提供できるようになります。

WACOM® for Business



tablet.wacom.co.jp/business © 2024 株式会社ワコム

お問い合わせ:
株式会社ワコム 〒160-6131 東京都新宿区西新宿8-17-1 住友不動産新宿グランドタワー31階
forbusiness@wacom.co.jp